

暖かい陽の光が降り注ぎ、春の訪れを感じる今日、私たち十三期生二百六十七名は卒業の日を迎えました。本日はお忙しい中、私たちのためにご臨席くださいました来賓の方々、先生方、保護者の皆様、在校生の皆さん、誠にありがとうございます。

今思い返すと、翔風での三年間はあつという間でした。合格発表を待っていた三年前、緊張と不安で張り詰めた雰囲気の中、体育館に掲示された合格者一覧に自分の番号を見つけた瞬間、ほっとした気持ちと大きな喜びを感じたことを鮮明に覚えています。真新しいギンガムチェックの制服に袖を通した入学式。合格発表の時の大きな喜びは、新しい環境についていけるのかという不安と授業や行事に対する期待の気持ちに変わりました。不安を感じていた生活も友達、優しい先生方、頼もしい先輩方のおかげで、充実した楽しい毎日へと変わっていきました。

一年次は、難しい勉強や部活動についていくのに必死で、瞬く間に過ぎていきました。

十四期生が入学し先輩となった二年次。二年次の思い出で最初に浮かぶのは修学旅行です。コロナの影響もあり行動範囲が限られた二泊三日の修学旅行。様々なプログラムがあった中で特に印象に残っているのはレクリエーションです。修学旅行委員や有志が中心となり、十三期みんなで作り上げた一つの大きなプログラムとなりました。この三日間の修学旅行を通して、行き先が重要なのではなくて、みんなで同じ時間を過ごすことが大切だと強く感じることができました。

いろいろな場面で「最後」という言葉がつくようになった三年次。翔風祭ではコロナの制限が緩和されて模擬店ができるようになりました。しかし、これまでに先輩方がされているのを見た経験がなく、想像がつかない状態でした。そんな中でも、一人一人が役割を担い、どのクラスもユニークな店を作ることができました。ステージでは、本番に向けてたくさんさんの撮影や練習をしました。朝早くから下校時間まで残って練習をしました。一つの舞台を作り上げる大変さを強く感じながら、迫る本番に向けて必死に練習したことを覚えています。そして迎えた本番。どのクラスも一丸となり素晴らしいステージを披露することができました。十三期全員の努力と熱い気持ちがステージを輝かせ大きな達成感を得ることができました。

後期に行われた体育大会。三学年で行う最後の行事。全力で取り組み、自分の力を最大限に発揮できました。観覧席からのエール、グラウンドに響く仲間からの応援の声はさらに大きな力を与えてくれました。クラス・学年を超えて大きな声で応援する姿は須磨翔風高校が誇れる団結力そのものでした。

楽しかった行事が終了すると待っていたのは自分自身と向き合う進路実現のための時間でした。長い時間をかけて自分の進みたい道を決定しました。悩んで出した結論はそれぞれ進む新たな道を強く明るく照らしてくれています。

私たち十三期生はこの三年間大切にしてきた目標があります。それは「人間力を備えた大人になる」ということです。「あなたのためなら」と言える人、言ってもらえる人になるということです。この目標を掲げ、日々の学習を通して一人一人が成長し、最終的に一つの大きなチームになれたと思います。

このように充実した三年間を過ごすことができたのは、十三期の最高の仲間がいたからです。「おはよう」と声を掛けたら明るい笑顔で「おはよう」と返してくれる友達、クラスは違っても休み時間に話してくれる友達、お昼ご飯と一緒に食べながら楽しい話をしてくれる友達、しんどい練習にも声を掛け合い勝利を目指し白球を追いかけた部活動のチームメイト、卒業するのが嫌だと思えるのは、こんなにも素晴らしい仲間がいたからです。本当にありがとうございます。

そして先生方。常に私たちのことを思い指導して下さいました。悩んでいた時相談に乗って下さったり、私たちを楽しませる企画をたくさん考えて下さいました。先生方のおかげで充実した高校生活を送ることができました。本日、胸を張って卒業していくことができます。本当にありがとうございます。

そして一番近くで見守り支えてくれた家族。しんどい日でもいつも明るく見送ってくれたり、毎日作ってくれるお弁当が力になりました。時には素直になれず心配させることもあったと思いますが、どんな時でも味方でいてくれて応援してくれてありがとうございます。

在校生の皆さん、高校の三年間はあっという間です。今いる仲間と過ごす三年間をかけがえの無いものにするためにも一日一日を大切に充実した毎日を過ごしてください。翔風祭や体育大会などの行事が素晴らしいものになったのは十三期と同じ気持ちで盛り上げてくれた皆さんがいてくれたからです。本当にありがとうございます。

これまでの当たり前の日々が明日からなくなるのはとても寂しいですが、私たちはこれからも一步一步進まなければなりません。しかし、私たちなら大丈夫です。この三年間の経験が、私たちがこれから進む一步を大きく力強いものにしてくれます。新たな道へ夢と希望を持って共に羽ばたきましょう。

私たちの須磨翔風高校がこれからも素晴らしい歴史を刻んでいくことをお祈りして、答辞とさせていただきます。

令和六年三月一日

卒業生代表 北村 栄人